ニュース あれこれ
記事の一部は朝日新聞社の提供です

「共通番号制度」法が成立
2016年開始へ

国民一人ひとりに番号を割りふり、納めた税金や年金などの個人情報をまとめて管理する「共通番号(マイナンバー)制度」法が24日に参議院で可決され、成立しました。政府は2016年からの運用をめざします。

国民全員に自分の番号を記した紙製の「通知カード」が郵送され、希望者には顔写真付きのICカードも配られます。政府は脱税を防ぐなどの効果を期待し、国民にとっては、役所などで事務手続きをするとき簡単になるといいますが、個人情報がもれて悪用される心配もあります。

山崎製パン、円安で値上げ
材料の輸入費増で

食品大手の山崎製パンは23日、食パン「芳醇」や「高級つぶあんぱん」など15品を7月から2～6％値上げすると発表しました。安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」の影響で円安が進み、小麦粉や油脂類、乳製品など、パンづくりの材料を輸入するときに支払うお金が高くなったためです。

食品ではほかに、キユーピーがマヨネーズを7月に値上げし、日本ハムもハムやソーセージ、ナゲットなど151品の量を減らします。家計への負担がじわじわ広がりそうです。

「二刀流」大谷選手、プロ初登板
最速157キロ

投手と野手の「二刀流」をめざす日本ハムの大谷翔平選手＝写真＝が23日、北海道・札幌ドームでのヤクルト戦にプロ初先発しました。新人の二刀流は45年ぶり。

2回に2点を取られ、5回を投げ終えて86球で交代しましたが、試合は引き分け。65球の直球のうち、42球で150キロ以上を出しました。最速は157キロでした。

ことばなるほど！ 山開き

富士山などの神聖とされる山では、一般の人が登山を許される開山期間が決まっていて、その期間が始まる日をいいます。山小屋なども、開山期間だけ営業している場合があります。

群馬県を中心に、福島県、栃木県、新潟県にまたがる山岳地帯にある尾瀬国立公園の山開きが23日、福島県檜枝岐村の登山口でありました。登山客はさっそく、湿原に咲き始めたミズバショウを楽しんでいました＝写真。

©朝日新聞社

壁まで走り手をつないだ
直撃された小学校「その時」

オクラホマ州で20日に発生した竜巻は、小学校を直撃。小学生の親や教師が人が多く出ました。

プライアーウッド小1年のブリアネ・コルデロさん(7歳)＝写真中央＝はそのとき「リュックサックを頭にのせて、壁際に立って！」という先生の声で、壁まで走り、同級生と手をつなぎ合いました。

先生がみんなに歌を歌わせて、気持ちをまぎらわせてくれた」

校舎は竜巻の直撃を受けましたが、女の先生がブレアネさんたちにおおいかぶさって守ってくれたそうです。先生は破片や友だちは無事だった。

校長の塩沢清先生は「いつまでも意識を保つために訓練を続けたい。

動画サイト「ユーチューブ」に投稿された竜巻の映像

竜巻 知って身を守ろう

アメリカ 幅2キロ、長さ23キロ「最大規模」

アメリカ・オクラホマ州で発生した巨大な竜巻は、小学生をふくめて20人以上の命をうばい、街を破壊しました。日本でも去年5月に茨城県つくば市などで竜巻が発生し、中学生が亡くなる被害が出ました。今後日本でも巨大竜巻は起こるのでしょうか？竜巻から身を守るためにそのメカニズムや特徴を知っておきましょう。(今井尚)

アメリカ国立気象局(NWS)によると、今回の竜巻は最大風速約90メートル。竜巻の規模をあらわす「改良藤田スケール」は最大規模の「5」で、幅2キロ、長さ23キロにわたって被害が出たといいます。

日本で発生する竜巻は、直径数十～数百メートル。移動範囲も数キロと短く局地的な現象です。

竜巻を起こす積乱雲(入道雲)は、乾燥した偏西風(地球の中緯度を西から東へ吹く風)など、上空に強い風が吹いているときに発生しやすいといわれます。

アメリカでは、ロッキー山脈を越えるときに雨や雪を降らせ、乾燥した空気が西から東へやってきます。メキシコ湾で発生した水分をたっぷりふくんだ空気と出あい、スーパーセルと呼ばれる巨大な積乱雲を発生させます＝上の地図参照。

©朝日新聞社

日本 夕立や雲に注意し備えを

これほどの規模の竜巻が日本で発生する可能性はあるのでしょうか。気象庁気象管理課の中里真一さんは「ないとはいえませんが、可能性は低い」といいます。

日本では竜巻の約6割は、7月から10月にかけて発生します。台風がもたらす空気を運びこみ、偏西風とぶつかると積乱雲が発生しやすくなります＝下の地図参照。関東平野では比較的多く竜巻が発生していますが、アメリカほど規模は大きくありません。偏西風がアメリカに比べ乾燥しないなど、さまざまな条件のちがいがあるからです。

とはいえ日本でも人が亡くなる深刻な被害が出ます。過去に竜巻や突風が起きた場所をまとめると、沿岸部がやや多いものの、全国どこでも起きていることがわかります。

昼間に起きることが多く、午後2時～5時がピーク。夕立を積乱雲が起こす現象なので、夕立が来そうなときは、竜巻にも注意が必要です。

気象庁は予測をインターネットの「竜巻発生確度ナウキャスト」で発表しています。また、予測されていない場所で突然起こることもあるので、もし真っ黒い雲が近づいてきたり、地上にうずを巻く状に伸びる雲が見えたりしたら、すぐにがんじょうなコンクリート製の建物に避難しましょう。

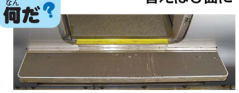
中里さんは「竜巻は数分間の現象です。通学途中に竜巻が起きたらどこに逃げようかなど、場面に応じて考えておくことが、いざというときに役立ちます」と話します。

去年5月6日に発生した竜巻で窓ガラスが割れるなどの被害を受けた栃木県茂子町の茂子西小では今月1日、竜巻を想定した避難訓練が行われました。窓のカーテンを閉めてガラスが飛び散るのを防ぎ、できるだけ窓側からはなれた場所に机を集めてシェルターとし、机の下でランドセルで背中と首筋を守りました。

校長の塩沢清先生は「いつまでも意識を保つために訓練を続けたい。

朝日小学生新聞
2013年(平成25年)5月25日 土曜日
©朝日学生新聞社
〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞朝日ビル9階
電話 03(3545)5222(記事) 03(3545)5225(広告) 03(3545)5223(広報) 03(3545)5227(販売)

これなに何だ？ ＜新幹線編＞ 答えは3面に



算数 2面　ドキドキ書店 6面
天声人語 3面　乱太郎 8面
まんが兵庫県 5面　さかなクン

ご購読の申し込み
お近くのASA(朝日新聞販売所)
こどもアサヒ www.asagaku.com
電話 0120-415843、FAX 0120-415853
1か月1720円(本体価格1638円 消費税82円)
海外限定電子版の申し込みはこどもアサヒから